

Just Now

「目標」に正対した授業づくりとは

渋谷 徹 Shibuya Toru
(新潟県新潟市立新潟小学校)

I 小学校における外国語活動の2つの目標

平成20年2月15日、新学習指導要領案が発表となった。それに伴い、小学校における外国語活動の目標も次のように明確に示された。

外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う。

目標が明示された今、現場は目標に正対した授業をどのようにつくっていけばよいのかを考え、その具体を示していかなければならない。本稿では、目標に正対した授業の具体について述べる。

II 言語や文化について体験的に理解を深める

この目標に向かうためには、理解を深めるべき「言語や文化」を題材として設定する必要がある。文部科学省は既に試案として10題材を示している。

本稿では、「漢字」を題材の1つとして提案したい。「英語活動で漢字？」と意外に思われる方も多いだろう。しかし、漢字は「言語や文化」そのものであり、大きな可能性を持った題材である。後述の活動例をお読みいただきたい。

III 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る

「積極的にコミュニケーションを図ろうとする態

度」を育成する授業を具現することは容易ではない。「積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度」の中身が曖昧だからである。育成すべき中身が曖昧のままでは、授業の具体を考えることはできない。

そこで、私は「積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度」を次のように定義している。

- 相手の話す英語を聞いて、それを理解しようとする態度をもつこと(推測)
- 相手に何らかの反応を示そうとする態度をもつこと(反応)

「積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度」を「推測」と「反応」という2つのキーワードで考えているのである。

私は、コミュニケーションとは「意味内容を伝え合うこと」であると考えている。伝え合いたい意味内容がなければ、コミュニケーションは成立しない。このような状況下で「積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度」を育成することは不可能である。したがって、まずは、児童たちが推測しなくなったり反応しなくなったりするようなコミュニケーション活動を開発する必要がある。

以下に示す活動例は、この要求にも応えるものである。「知っているようで知らない」という半知の要素が児童たちの知的好奇心を刺激するからである。

IV 活動例1「この漢字読めるかな」

児童たちにとっての難読漢字を板書して示し、英語のヒントを与えながらその読み方を考える活動である。次のように進めた。

I'll give you some *kanji* quizzes. If you know the answer, raise your hand. The first question is easy.

Q1 「海老(えび)」

What's this *kanji*?

Yes. It's ocean, 'umi'. This animal lives in the ocean. This *kanji* means 'old'. This animal has a long body and many legs. We eat it as *sashimi*.

The answer is 'ebi'. It's 'shrimp' in English.

Q2 「海星(ひとで)」

This *kanji* means 'star'. This animal looks like a star. It's 'starfish' in English.

The answer is 'hitode'.

Q3 「海月(くらげ)」

This *kanji* means 'moon'. Do you know the answer? Do you want some hints? This animal has a clear and soft body. It can sting you. It looks like an umbrella. It's 'jellyfish' in English.

The answer is 'kurage'.

Q4 「海豚(いるか)」

This *kanji* means 'pig'. This animal can swim very fast. It can jump up very high. It's very smart. We can see it in aquariums. It's 'dolphin' in English.

The answer is 'iruka'.

Q5 「海馬(とど)」

The last question is difficult. This *kanji* means 'horse'. What's this animal? It lives in the ocean. It's big. It's 'sea lion' in English. It looks like a seal, 'azarashi'.

The answer is 'todo'.

漢字は表意文字である。英語のヒントだけでなく、漢字のもつ意味そのものが読み方を考えるための手がかりとなる。これは、漢字という言語文化がもつ大きな特徴である。

V 活動例2「中国ではどんな意味？」

漢字は中国から伝わった。しかし、同じ漢字でありながら、日本語と中国語では大きく意味が異なるものがある。意味の違いを知った子供たちはその意外性に驚くこととなる。

Q1 「走(歩く)」 ※ ()内は中国語での意味

Can you read this character? It means 'run' in Japanese. But it has a different meaning in Chinese. What does it mean in Chinese? You can answer in Japanese. It's 'walk' in Chinese.

Q2 「湯(スープ)」

It's 'hot water' in Japanese. But it's not 'hot water' in Chinese. What is it in Chinese? It is 'soup' in Chinese.

Q3 「娘(母親)」

It's 'young woman' in Japanese. What is it in Chinese? It's 'mother' in Chinese.

Q4 「手紙(トイレトペーパー)」

It's 'letter' in Japanese. What is it in Chinese? It's 'toilet paper' in Chinese.

漢字を使っている国は、中国と日本だけではない。韓国での使われ方なども比較の対象にするとおもしろいかもしれない。

VI おわりに

英語活動は、全国ほとんどの学校で実践されるようになった。しかし、これまで、その中身は多種多様であった。「小学校英語活動実践の手引」(文部科学省)は示されていたものの、実際の授業は、目標も内容も方法も、そして時数もバラバラであったのである。

今回、小学校における外国語活動の目標は明確に示された。これからは、同じ方向を向いた実践が積み重ねられなければならない。そのためには、「コミュニケーションとは何か」について考え、そのとらえ方を一致させることが必要である。